

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 3 月定例会

2 開 催 日 時

令和 2 年 3 月 11 日（水） 8 時 30 分開会 9 時 26 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 3 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

白水教育次長、青木教育総務課長、中島学校教育課長、松隈生涯学習課長兼図書館長、古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、竹下生涯学習課参事、井上学校教育課主幹兼教育相談係長兼指導主事、立石学校教育課長補佐兼学校教育係長、原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、眞子教育総務課総務係長、久山生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

0 人

8 経 過 報 告

2 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

2 月定例会の議事録承認

【承認】

2 月臨時会の議事録承認

【承認】

10 議事及び審議結果

議案第 9 号 教育プランの改正について

【承認】

11 協 議 報 告 事 項

- (1) 鳥栖市立小中学校学校現場の業務改善計画について
- (2) 新型コロナウイルス対応について

12 今 後 の 予 定 等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次 回 会 議 予 定

教育委員会 4 月定例会 令和 2 年 4 月 8 日（水） 9 時 00 分から

○天野教育長

それでは皆さんおはようございます。今日は3月定例議会ということで、早朝より御出席いただきましてまことにありがとうございます。市役所の方も半旗が揚がっておりますけど、今日は東日本大震災からちょうど9年ということになりました。今朝NHKのラジオを聞いておりましたら、23歳で女性の方なんですけど、語り部になった方がインタビューに答えてあったんですけども、最後に何か言いたいことがありますかって言われたときに、「何もないときの準備の大切さと、その難しさ」ということを話しておられました。「だから私は、語り部を一生の仕事にしたい」と話してありました。

そんな中、国難でもある新型コロナウイルス対応ということで、本当にいろいろ御心配をかけております。学校開放につきましてはあとで報告をしますけど、3日からスタートして今280名前後の子供たちが利用しているという状況です。16日以降につきましては今日県の判断も示されるということも含めて、協議をしていきたいというふうに思っています。

委員の皆さん方は中学校の卒業式ということで、祝辞等まことにありがとうございます。私は田代中学校に出席しておりましたけど、ああいう形での初めての卒業式でしたけれども、粛々と会は進んでおましてすばらしい旅立ちの卒業証書授与式になったというふうに思っています。19日の小学校の卒業式もよろしくお願ひしたいと思っています。

それでは、ただいまより教育委員会3月定例会を始めます。まず、経過報告をお願いします。青木課長。

○青木教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。行事について、何か御質問等ありましたらお願いします。いいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは次にいきます。

2議事録承認について、今回は2月の定例会と2月の臨時会という2回の教育委員会を開きまして、事務局の方でまとめていただいております。また、何かありましたらお願いします。

それでは3議案に入ります。議案第9号教育プランの改正についてお願いします。はい、青木課長。

○青木教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。非常に詳しく説明をしていただきまして、今回新学習指導要領の実施ということも踏まえまして、さまざまな面で改正される部分が多くて、教育委員会としても非常に重要な部分だろうというふうに思っております。新しく出てきた言葉等もありますし、忌憚ない御意見・御質問等お願ひしたいというふうに思います。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

おはようございます。全体として適切な文言整理をされたかなというふうにお見受けをしております。その中で、5ページの学校教育の中の2番目の、「教科「日本語」の充実」に関してお尋ねをいたします。直接プランには関係ないかもしれませんが、少なからず影響してくるかなというふうに感じているのでお尋ねをするんですが、以前にもひょっとしたらをお尋ねしたことがあるかもしれません。

教科「日本語」はすばらしい鳥栖市独自の取り組みであるというふうに認識をしておりますけど、新規採用職員の教師の方、また、市外から初めて鳥栖市に来ましたよという方で、やはり教科「日本語」のことを承知されていない方がいらっしゃったとした場合、先生たちもそれを指導していかなきゃいけないわけですけど、そこら辺の研修なり、教えるに当たっての教育委員会として、学校としての先生方への配慮はどんなふうに行われているかを分かれば教えてください。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

御質問にお答えいたします。新規採用職員、それから鳥栖市に新たに転入してきた職員に対しましては、年度当初、5月の時分にそういった先生方を対象とした研修会を実施しております。内容としましては、教科「日本語」の概要、それから実践事例の紹介、大きくはこの2つになります。研修で説明をするわけですが、年度当初ということでそれだけではやはり不安な点もございますので、まずデータとしまして指導案集、これを誰もがみれる場所に保存しております。また、そういった先生方対象というわけではございませんが、昨年度5月に実践事例集、これを冊子の形で作成をいたしまして、各学校に学級分保存用として配布をしております。こういったものを参考としながら授業を進めていただく、また、教材・教具等につきましては各学校に保存をさせていただいておりますので、それを活用していただくことでできるだけ負担を軽減するというところで鳥栖市としては取り組んでいるところでございます。以上です。

○天野教育長

はい、古澤委員。

○古澤教育委員

多分そういったことでしっかりされてるだろうなというふうには感じておりましたけれども、そういう中で、ベテランの先生方は別として、新採の方で教え方についてこれはどういう理解をしたらいいのでしょうかというような質問とかあったりしたことがあれば教えてください。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

新採の方、それから鳥栖市に新しく来られた先生方から、やはり年度当初の研修会では質問等はさほど出てきません。実践がそこまでない中での研修会ですので、実践していく中、もしくは準備をしていく中でそういった疑問、不安等がありましたら、各学校に配置しております教科「日本語」コーディネーター、こういう方がいらっしゃいますのでその方に相談、もしくは学年主任等いましたら学年主任等に相談をするという形で現在進めているところでございます。以上です。

○天野教育長

古澤委員いいですかね。各学校におります教科「日本語」コーディネーターが非常によく動いてくれているようでございます。コーディネーター研修会の実施回数等も挙げておりましたけれども、先日研修会を行ったときに今度新学習指導要領で評価の観点が増えるんですよ。今まで4観点だったのが3観点になるということだったので、1年間の宿題をコーディネーターの皆さんにお願いして、それで全ての学習内容の観点を作り直して改定をして持ち寄ってということで、大体でき上がったということです。そういったことで、コーディネーターの方々にも研修を

してもらっているというふうな状況ですので、うまくいってるんじゃないかなというふうに思っております。はい、戸田委員。

○戸田教育委員

すいません、ちょっと1点質問をさせてください。学校教育の3つ目に「中学校における別室の活用」の話があげられています。大変重要な取り組みだと理解しているんですけども、活動指標のところで「中学校における「別室」の活用状況」となっています。これが具体的にどういう指標なのか、指標として何を把握すればいいのかってなかなか難しいというのは理解できるんですけども、どのようなことを念頭に置かれているのかっていう説明をお願いします。

○天野教育長

はい、井上指導主事。

○井上学校教育課主幹兼教育相談係長兼指導主事

はい。指標を示して毎月報告を上げていただいております。人数、そして入室当初と比べてそれが徐々にどう変わっていったかというものを書いていただいております。田代中学校においては当初2名だったものが、現在8名に増えています。そして、表にいくつか枠がございまして、1週間に1日程度、2~3日程度、そして教室復帰とか、その段階を経てどういうふうに推移したかというものを示していただいております。実際に人数は増えているのですが、当初の段階から目に見えてどんどん学校に来れる日数が増えてきている生徒ばかりではないんですけども、少しずつですけど学校に来れる生徒が増えてきて、登校する日数が増えているような状況です。そういったもので指標にしております。

○天野教育長

戸田委員。

○戸田教育委員

把握する上でそれはまさにそうだと思うんですけども、評価するに当たって何をよしとするのかっていうのはなかなか難しいわけじゃないですか。そのあたり、どのようなことを想定されているんですか。その数は増えても減ってもどっちがいいのかっていうのは一概に言えなくて実際の状況を見ないと判断できないことだと思うので、その辺を教えてください。

○天野教育長

はい、井上指導主事。

○井上学校教育課主幹兼教育相談係長兼指導主事

なかなか難しいところではないかなと思います。人数が増えているというのも、それこそ全然登校できなかった子が別室ができたからそこになら来てみようということで増えているという状況もございまして、その中には別室にしか登校できなかった子が時々だけ教室に行けるようになった、あるいは教室がどんどんきつくなるんですね、そういった子が学校に来なくなるんじゃないかと、別室で留まっているというようなところもあります。確かに毎月上がってくる報告から目に見えてこの子がこんなふうに変ってきたというのは判断として難しいんですけど、全体的に見たときに、学校としては来れなかった生徒が来れるようになってきた、そして本当なら学校に来れなくなるかもしれない子が別室で留まっているというところで評価をしております。以上です。

○天野教育長

戸田委員いいですかね。評価の基準っていうところも含めて非常に表記するのは難しいところもあるんですけども、この成果は確かに上がってるんですよ。前回話

したかと思えますけれども、今田代中で鳥栖市内で初めてやって、非常に効果を上げているということで、来年度は鳥栖中と西中に広げて3つの中学校で実施するという考えております。

一番の問題は前回も言いました人の問題なんですね。その指導者の問題で、今の田代中の指導者は元養護の先生で、ものすごく豊かな心で接していただいて子供たちも行くのを楽しんでいるというような状況です。そういった意味で人を探すということはとても重要で、大体この先生とこの先生にお願いできないかなということで見通しがたったというような状況です。これは鳥栖市としてもしっかり取り組んでいきたいというふうに思っております。以上でございます。ほかに。はい、吉原委員。

○吉原教育委員

同じく6ページの中で児童虐待について、「福祉部門と連携を図って児童相談所等との連携体制を確立していきます」ということで、児童相談所あたりとの連携体制を確立するという具体的などのように、例えば月1回報告というか、電話等で連絡をするとか、何かそういうお考えがあればちょっと教えてほしいなと思います。

○天野教育長

はい、井上指導主事。

○井上学校教育課主幹兼教育相談係長兼指導主事

確かに児童虐待は増えてきておりまして、学校で気付くこともありますし、こども育成課から情報が入ってきて対応に当たるということもあります。これはもう児童相談所に相談した方がよいと思われるものについては、こちらからとかこども育成課の方から連絡を差し上げているというところなんです。すいません私も全部把握してるわけじゃないのですが、情報共有の方は密にしております。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

児童虐待等については、児童相談所等との連携体制の確立というところで明記しておりますけれども、例えば児童相談所とかに保護されたということになってきたときに、これまで復帰のタイミングなどこちらから連絡を取らないとなかなか情報が入ってこなかったんですね。それで、こども育成課とかと連携を図っている場合もありますので、その3つがやはり連絡をとり合うことが一番大切というふうに考えております。今年度の内容としましては、実際に帰すタイミングというのは児童相談所の方でいろんな関係者と相談しながら決められているんですが、学校教育課の方にその情報が流れづらかったためこちらからいくらか連絡をとらせていただいたんですけれども、そういったところについてもやはり今後、お互いにとり合う、そこを確立したいというふうに考えております。以上です。

○天野教育長

吉原委員いいですかね。非常に難しい問題だけでも重要な問題なので、今回初めてこの福祉部門との連携を図るといふ文言をつけ加えて、来年度はこの辺のところを具体的にやっていく体制をとらなきゃいけないという状況だなということで、しっかり取り組んでいきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいというふうに思っています。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

また先ほどの6ページの不登校児童の話に戻りますけど、活動指標の中に「学校

適応教室「みらい」の不登校児童生徒の学校復帰率」というふうにされています。これは分かりやすい数値を設定しているのかなと思うんですけど、もう一つ、表すことは必要ないかもしれませんが、例えば10名の「みらい」に来てた子がそのまま10名だったということでプラマイゼロという評価だけではなくて、例えば元気がなかった子が表情が明るくなった、自分では全然主体的に何もしようとしない子が、以前よりも活動的になったとか、そういったのを先生方は当然感じてあることだろうと思いますし、どこかに掲げる必要があるのかどうか分かりませんが、そういった観点も持ち合わせてやっていただければなと思います。質問というわけでもないです。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

はい、貴重な御意見ありがとうございます。学校適応指導教室「みらい」につきましては、現在2名の指導員を配置して子供たちの指導に当たっております。集団適応の力をつけるためということで、子供たちの指導に関しては毎月指導員の方から子供たち一人一人の細かなところまで報告が上がってきております。その中で子供たちの変化についても教育委員会としても把握をし、学校も含めて情報共有しながらやっておりますし、各学校の学級担任も定期的に「みらい」の方に訪れたり、私たち教育委員会からも足を運んで子どもたちの様子を適宜把握するというように努めております。今御意見いただきましたように、ただ学校への復帰だけではなくて、子供たちの表情、本当に明るくなったとか、そういった部分もしっかり見ていきたいと思っております。どうもありがとうございます。

○天野教育長

古澤委員いいですかね。私も最初「復帰率」って見たときに、復帰率だけで物を言うわけにはいかないだろうということで、やっぱり子供たちの状況であるとか、そういった面も含めてね、確かに「みらい」の方から逐次報告を受けてるっていうことも含めてこの辺はちょっとまた検討していきたいと思っております。活動指標についてもちょっと整理する必要があるのかなっていう気もいたしております。はい、ほかに。副田委員。

○副田教育委員

はい。図書館利用から阻害される人がいないようにということで大きな定義があるかと思うんですけども、最近非常に鳥栖市内でも海外の方が増えてらっしゃいます。そのような海外の方たちの図書館利用率であったり、あるいはその方たちが御要望を出されてこのような図書をというふうな、そのような事案がございましたらお聞かせいただきたいと思います。

○天野教育長

はい、松隈課長。

○松隈生涯学習課長兼図書館長

私、図書館長なりまして1年なんですけど、今のところ図書館の方からそのような事案は聞いたことがありません。以上です。

○天野教育長

副田委員。

○副田教育委員

もしかしたらこれからそのような対応も必要になってくるのかなと思います。それから、図書館ではDVDの貸し出しもしてらっしゃるんですか。そのような中で、

例えば聴覚障害の方たちの場合は、洋画でしたら字幕つきというのは当たり前のような感じがしますが、聾啞者の方たちにとっては邦画であっても字幕つきのものがよいということがあるわけですね。で、図書館にはそのようなものがございませうでしょうか。邦画で字幕つきの貸し出しできる DVD というものがございませうか。

○天野教育長

はい、中溝係長。

○中溝生涯学習課図書係長

全てではないんですけども、そういった活字が入ったものも置いてございます。

○副田教育委員

はい。確認事項になってしまいましたが、聾啞者の方はそういったものをたくさん望んでいらっしゃいますので、これからおいおい増やしていただければと思います。ありがとうございます。

○天野教育長

はい、どうもありがとうございました。ほかに委員の皆様からいいでしょうか。ということで、教育プランの方もまだこれから今受けた意見等も含めてですね、再度しっかりしたものとなして仕上げていきたいというふうに思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。それでは教育プランの改正については御承認いただくということでもいいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは次にいきます。

協議報告事項に移ります。まず一つ目に、鳥栖市立小中学校学校現場の業務改善計画についてお願いします。中島課長。

○中島学校教育課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。いよいよ目標が明確になりましたので、それに向けて今回かなり教育委員会の取り組みについてもまたつけ加えをしております。何か御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。古澤委員。

○古澤教育委員

今の説明の中の4番目の「健康管理体制の充実」の中で、例えばひと月80時間を超えた先生がいらっしゃいました。ひと月だけでの80時間というのは全国的ないろんな行政とかでもやってたかなと思うんですけど、80時間を超えたらメンタルを含んだ健康診断を強制的に受けてもらう、もしくはそれが3か月続いた場合には何とかというふうな、何かそういったフォローがあったように思うんですけど、先生方の体制はどういうふうになってるのでしょうか。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

この月80時間という数字につきましては、労働安全衛生法の改正が平成30年に行われまして、その改正に基づいてこの数字が出てきているところでございます。実際各学校におきましては、月80時間を超えている先生に関しては校長の方から産業医等による面接指導を受けるようにということで指導をしております。ただ、そこにつきまして最終的に受けるか受けないかについてはその先生の判断で、実際行かれています先生もいらっしゃいますし、行かれていない先生もいらっしゃるというのが現状でございます。3か月についてはちょっと整理をさせていただいてよろしいでしょうか。後ほど回答いたします。

○天野教育長

はい、古澤委員。

○古澤教育委員

なかなか現場で強制できないというのは分かりはしますが、例えばメンタルとかは徐々に進行して行って、気力がなくなってしまって気付いたときには結構深刻な状況になったりとかしている場合が多いかなと思います。そういった中で、こういう勤務時間の超過、これもそういった要因の一つになるのかなというふうに思いますので、極力時間のつく限りで産業医の面接だけは受けてもらう、全員受けられるように今後されていった方が望ましいかなというふうに思います。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。ほかに、吉原委員。

○吉原教育委員

はい。3番目の「より適正な部活動のあり方」ということで、外部指導員の活用ということが重要になってくるかと思えます。今の状況とですね、この外部指導員の今後の見通しをもうちょっと教えていただければと思います。

○天野教育長

はい、井上指導主事。

○井上学校教育課主幹兼教育相談係長兼指導主事

現在、外部指導者は鳥栖中と田代中、そして西中学校の方に配置をしております。来年度は4校全てに配置をしたいと考えております。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

すみません、今井上の方が外部指導者というふうに申しましたけど、具体的に部活動指導員という形になります。部活動指導員というのは、今学校の教職員が顧問として部活動を担当してありまして大会等への生徒引率も当然していきますが、部活動指導員につきましても教職員と同じように顧問ができます。また、生徒たちの大会等への引率もできるというのが部活動指導員という形になります。外部指導者についてはそこまでできません。具体的には各学校を見たときに、形的に多いのは保護者の方がボランティアで来ていただいているというのが非常に多いのかなと思っております。本年度具体的に何人の方がってところは今ちょっとお示しすることができませんけど、今言ったように各学校において外部指導者として保護者の方が入っていただいたり、地域の方が入っていただいたりという形で来ていただいている現状はございます。

○天野教育長

吉原委員いいですかね。ほかに。はい、副田委員。

○副田教育委員

1番ですが、「朝の登校時間の見直しによる出勤時間の適正化に努める」と書いてありますが、この朝の登校時間の見直しという時間は、具体的に何時からというようなことはもう決まってるんですか。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

市として統一した時間はございませんが、校長研修会の折にも働き方改革については協議をしております。具体的には、現状として例えば早い学校ではもう7時前

後には子供たちが来ているという現状があります。ただそういう中で、やはり子供たちが7時ぐらいい来ているのに先生たちが来ないっていうわけにはいかないという現状があります。そういったところでやはり、例えば7時半以降に登校するように保護者の方に御理解をいただくとか、各学校での時間設定になると思います。ただ保護者の方もやはり働きに行く時間という部分もおありかと思いますが、御理解をいただくように、情報発信をしながら理解に努めていく必要があるのかなというふうに考えているところでございます。

○天野教育長

副田委員いいですかね。ほかにいいでしょうか。

それでは次に新型コロナウイルス対応についてお願いします。はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。そういった形で今対応をしているわけですが、16日以降について今日県の方がどういうふうな考え方を示されるのかなということで、それに対応するというですぐにでも校長会あたりも含めて、検討していきたいというふうに思っています。何か御質問・御意見等ありましたらお願いします。はい、副田委員。

○副田教育委員

全国でもニュースになっているようですが、予定されていた給食分の牛乳や食材は、鳥栖市ではどのようになっていますか。

○天野教育長

はい、原センター長。

○原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

はい。予定しておりました給食の食材は、もう既に2月の20日過ぎには発注書を出しておきまして、3月分の発注は済んでいたんですけども、国の方から3月2日から臨時休校すると2月27日の夕刻に発表されてから、各業者の方に臨時休校がなされるかもしれないというような情報提供を早目にお知らせし、臨時休校になることを想定しての準備をお願いしたいということでファックスを送っておりました。その結果、臨時休校を決定いたしましたけれども、正式に決定しましたということでお知らせをいたしましたところ、大まかキャンセルをすることができました。残念ながらキャンセルすることができなかった食材もございますが、それは冷凍保存が可能なものでしたので冷凍保存をしていただいて、今月再開されれば今月使えますし、再開されなければ4月の給食で使いたいということになっております。ですので、廃棄処分をせざるをえなくなったというようなものはございません。

○天野教育長

というところでございます。ほかに。はい、吉原委員。

○吉原教育委員

関連でセンターの方で、センターが閉館になった時点で働き手の方にどのように対応されてあるのか、また、政府の方針で給食費が全額返ってくるということでニュースがあったので、その辺また返す方法とかね、返すに当たっては振り込み料とかが発生するのかどうか、その辺ちょっとお考えがあれば教えてください。

○天野教育長

はい、原センター長。

○原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

はい。まず、学校給食センターで雇用している職員というのは、正規職員、嘱託職員、臨時職員、全体合わせますと60名を超す人数がおります。臨時休校に伴いまして、そのうち臨時職員が40名ほどになりますけれども、こちらについてはお休みをいただいているというところがございます。こちらにつきましては、労働基準法に基づきまして休業手当を支給するというところで考えております。ですので、現在給食センターでは正規職員と嘱託職員が、通常は長期休業中に行うような作業を今やっております。

それと、給食費に関して昨日でしたか政府の方から方針が出ておりますけれども、こちらについてはまたアンテナを張って情報収集に努めていきたいと思っております。現在いただいております給食費につきましては、6年生の分につきましては実際に給食が中止になった分というのは9日間分ですので、その分についてはお返しすべきだろうということで考えております。そして1年生から5年生までの在校生の分なんですけれども、こちらにつきましては予定としまして新年度の方に繰り越すことができれば繰り越しをしたいということで考えております。実際休校期間がまだ確定していない部分もございますので、方向としてはそういったところで考えております。以上です。

○天野教育長

吉原委員さんいいですかね。ほかにいいでしょうか。はい、どうもありがとうございました。

それでは、次に今後の予定についてお願いします。青木課長。

○青木教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。たくさん中止になってしまっておりまして、本当に心配な面もありますが、何か委員の皆様から御質問等いいでしょうか。4月8日の定例教育委員会は9時からですけど、1か月後少しでも好転していることを願っております。

それでは以上をもちまして、教育委員会の3月定例会を終わります。皆さんどうも今日はありがとうございました。